

研究概要

大阪大学大学院 薬学研究科 生命情報解析学分野 招へい教員
(附属創薬センター 特任講師 (常勤))
橘 敬祐

核内受容体 PPAR α は脂質代謝を制御し、活性化により血中トリグリセリド (TG) 量を低下し HDL コレステロール量を上昇する。そのため、PPAR α 活性化剤は脂質異常症治療薬として用いられており、また非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) 治療薬への応用も期待されている。

我々は独自に構築した PPAR α リガンドスクリーニング系を用いて、化合物ライブラリーから新たな活性化化合物を見出すことに成功した。本化合物は既存のリガンドよりも低用量で高脂血症モデルラットの血中 TG 値を低下した。

このように、新たな治療薬開発を目指して研究を行っている。